

# リケンテクノスのあゆみ

## 1950～

### 創業・黎明期／企業基盤確立期

当社の前身である「理研ビニル工業株式会社」は、1949年に東京工業大学において、塩化ビニル配合技術の基礎研究に着手し、工業化の調査を開始したことから始まりました。1951年に創業し、塩化ビニル樹脂加工を中心に、わずかな資金で「人と技術」のみを頼りとするいわばベンチャー企業として出発しました。

## 1970～

### 国内事業基盤確立期

当社は創立以来、首都圏を中心に事業展開をしてきましたが、関西中京圏の顧客が増大したことを受け、1973年に大阪営業所を開設、さらに三重工場の操業を開始しました。関東、関西における生産販売体制を確立し、顧客企業からの信頼向上、安定した資金調達を目指し、1974年、東京、名古屋両証券取引所の第一部に上場しました。

## 1990～

### 本格的な世界市場進出期

日系企業が海外進出し始めたものの、現地で品質の良い材料を調達するのに苦慮しており、そのようなお客様からのお誘いをきっかけに、本格的な海外コンパウンド生産拠点として、RIKEN (THAILAND) CO., LTD.を設立しました。これを皮切りに、米国、インドネシア、中国、欧州と生産・販売拠点を拡大しました。2001年、「リケンテクノス株式会社」へと社名を変更しました。

## 2015～

### グローバル経営の深化

生産・販売拠点の海外進出により、国内・海外拠点ともにグローバル経営を意識した組織体制を構築してきました。生産体制の最適化および供給網の充実化を図り、グローバルで均一な「リケンテクノス品質」を提供しています。2022年からは、東京証券取引所「プライム市場」に上場しています。当社はこれからも挑戦し続ける「チャレンジメーカー」として、歩んでいきます。



※ 1998年度まではリケンテクノス単体の売上高、1999年度からはリケンテクノスグループ連結の売上高の推移となります。